

Rotary



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 石川 元信

幹 事 谷田部 修

会報・雑誌委員長 田崎 信孝

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3013号 2023年9月5日(晴れ) 第9回例会 会員数105名

ハイブリッド例会

点 鐘 小林(正) 副会長
司 会 副SAA 今泉会員

◇国歌「君が代」

◇ロータリーソング「四つのテスト」

◇本日のランチ 小付 煮物 豚ヒレグリルガーリック風味 香の物 汁 御飯 デザート



ビジター紹介 小林(正) 副会長

◇来訪ロータリアン

1名(1クラブ) 累計26,616名

卓話講師 RI第2550地区 友地区代表委員
熊倉 勝 様(佐野RC)

会長挨拶 小林(正) 副会長

皆さん、こんにちは。本日は、石川会長の代理でお話させていただきます。今日から9月、日本の古い暦では「長月」と申します。日没が早くなって夜が長くなるのを感じる、季節にとんだ暦の名前でございます。日本には二十四節気と言う、1年を24の区切りに分けて、その季節の変わり目を楽しんだという風習がございます。これからどんどん寒くなって参りますので、お体にお気を付けて、ロータリー活動に勤んでいただきたいと思います。来月はポリオプラスのイベントもございますので、よろしく願いいたします。

◇今泉 一会員よりご挨拶

先日の母の葬儀に際し、皆様にご参列頂き、誠にありがとうございました。母は、63歳の時に多発性骨髄腫を発症し、16年間闘病していましたが、令和5年8月21日に永眠いたしました。沢山の方にご厚情いただき、感謝申し上げます。



幹事報告

谷田部 修 幹事

◇ロータリーレート 9月は1ドル146円。

◇地区より 秋田豪雨災害支援金をお願い。募金箱を各テーブルに回します。

◇石川年度の会員一覧をレターBOXに配布。



委員会報告

◇スマイルボックス委員会 菊地(正) 委員長
今泉 一会員

※例会時にご本人からご挨拶がありました。

◇親睦委員会

石川(和) 委員

<誕生祝い・9月>

会員誕生

原 賢一、今泉 一、稲見 京二、
石川 和重、木平 健、小林 利延、
小野 誠、尾野崎孝夫、櫻井 基雄、
辻 裕司、若度 哲久、山本 修一
各会員

夫人誕生

櫻井 基雄、田原 聖、手塚 正智、
柳田 慎治、吉田 努

各会員の奥様



卓 話

「ロータリーの友について」

RI第2550地区 友地区代表委員
熊倉 勝 様(佐野RC)

本日は、卓話の講師にお招きいただきまして、大変光栄に存じております。「ロータリーの友」月間に際してということで、パワーポイントに基づいてご説明いたします。

※はじめに自己紹介がありました。現在、佐野ユネスコ協会の会長として、青少年と共に平和運動、並びに地域の伝統ある文化遺産の保存活動にも努めているそうです。

ー パワーポイントにて説明 ー

ロータリアンなら読もう「ロータリーの友」

私たちロータリアンは、「例会に出席」「会費の納入」と同時に、「ロータリーの友」を購読すること」が大事な義務の一つになっております。

「ロータリーの友」は国際ロータリー(RI)から認可を受けた雑誌

世界に30程、認可を受けた雑誌があります。アメリカ版、日本版、台湾版、韓国版、ポルトガル版等です。

RIが認可する条件 (RIに認可を受けるために)

- ① RIの指定した記事を必ず掲載すること。指定記事にはRIのマークがついています。
- ② 国際ロータリーの方針を伝えること。
- ③ 年に6回以上発行すること。
- ④ 雑誌の内容の50%はロータリーに関係した記事であること。
- ⑤ 読者が印刷媒体か電子媒体を選択できること。
- ⑥ RIの資金援助を受けずに経済的に自立すること。

などが基準として決められています。(②に関連して)ここ数年、マークの統一を行っています。ブランドづくりをしようとしているようです。(⑤に関連して)昨年アーカイブが完成し、創刊号から今日までの全ての記事を電子版で見られるようになりました。閲覧にはIDとパスワードが必要で、IDとパスワードは半年に1回変更があります。また、条件の中には、ロータリーというマークを必ず入れること、7月号の表紙にはRI会長の写真を使用すること等が決められています。

2023~24年度「友」DEIの推進

2023~24年度「友」ではDEI(ダイバーシティ・エクリティー・インクルージョン)を推進しています。この考え方は、2019年のRIの理事会で決議されて、ジェニファー・ジョーンズ2022-23年度会長が会長エレクトの時に国際協議の場で発表し、昨年からこれを推進しようという動きが始まりました。ダイバーシティは多様性、エクリティーは公平さ、インクルージョンは包括性とか、とり込むという意味合いを持っています。多様性ということで、民族、宗教等、いろいろあ

りますが、お互いにその違いを認めあうことが大切なのではないか、同時に、すべての人たちが公平に取り扱う、また、そういう違いのある人を大いにとり込んでいく、そういう考え方になっていきます。

横組みと縦組みがある理由

ロータリーの友は横組みと縦組みがあります。主に、縦組は個人的な思考(短歌、川柳、俳句等)、横組みはRIからの指定記事と考えていいかと思います。最近では横組みが多くなっていて、日本の各クラブの様子等が横組みで組まれています。第2550地区は記載が少ないので、趣味のコーナー等、個人的にでも投稿していただければと思います。今月号には、佐野RCの足尾植樹の記事や、足利RC会員の方の記事が載っています。

「友」創刊のきっかけ

1952年に、日本のロータリーが増えたため、RIから、1つの地区だったものを2つにするように、とのことでした。相手のことも知っておきたいと、翌年に共通の雑誌を作りました。横書きでスタートし、俳句等を入れるようになり、縦書きが多くなったということです。「ロータリーの友」は「ロータリーの目的」を推進し、ロータリアンの親睦を育むお手伝いをしています。ロータリー生活を楽しむために、或いは、資質を上げるために、利用していただきたいと思います。

投稿の条件・注意点・留意点

写真は、活動がわかる写真、単なる記念写真のようなものは送らないで欲しい、ということです。原稿は、ポイントを絞って書いて欲しい、全国にいる読者にクラブのことがわかるように説明を入れて欲しい、活動日を入れて欲しい、とのことです。投稿は活動が終わった1か月以内にして下さい。活動からかなり時間が経過したものや、内容が○周年記念の例会や式典の記事は掲載されません。ただし、記念式典の奉仕活動は掲載されます。個人・団体を誹謗中傷したものや地区やクラブのもめごとや、政治・宗教的に偏りがあるものは掲載していません。また、写真や原稿には著作権がありますので、他人の著作物は、無断で使用しないでください。同時に、「ロータリーの友」の記事を使用する場合は、必ず、友編集部にご連絡していただきたい、とのことです。

10月27日の地区大会記念ゴルフ大会と11月11、12日の地区大会は私も担当しています。皆様とその時にまたお会いできることを楽しみにしております。